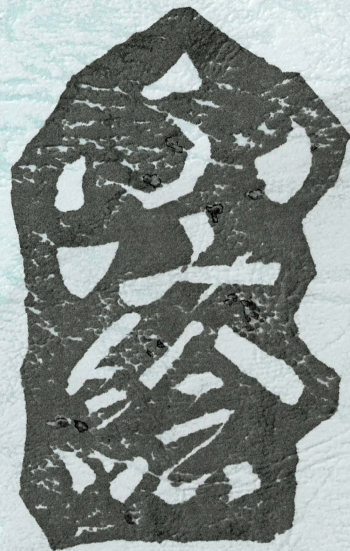


2022年(休刊)
通卷19号



悪の華めぐる

地獄の亡者哉

背徳の刃やいば わが身に振りかかり

妄執よりこの虜 身もて亡びゆく

おのが軀を 苦界の桶に担ぎしや

いじましき あと幾許いくほくの天下びと

磔刑はりつけの蠅取りリボン 風に揺れ

レクイエム 骨笛吹きて敗戦忌

国粹の隠亡おんぼ 巢穴おんぼに閉じ籠もり

ヤスクニのA級戦犯 牢名主

読み飛ばし※ 核の亡者の目が眩み

闇將軍 蟬蛻みけがらなきの戦後哉

※ヒロシマの原爆慰霊碑の前で、時の首相挨拶読み飛ばしという権事あり。こ立派。

替え忍ぶ つかいで多き天皇みかど 哉

天皇を後の戦犯 楯となし

在りし日の皇室いまや 底雪崩せきなだれ

今今の女系天皇 棚ざらし

万世に一系 今わの紙風船

列強の枕ならべて 野垂れ死に

神神の代理戦争 修羅場哉

九・一一 逆児のテロに組み伏され

星条旗 弔い旗のはためきて

アフガンに帝国 終の墓場哉

金メダル咬めばコロナの 苦い味

欲の丈 なみだ零るるメダル哉

あけすけにメダル バナナの叩き売り

※
エクスタシー憑き物哀し 金メダル

ユートピア 金の手鎖そつと掛け

※エクスタシー＝神憑り。魂が世界を超越した状態。忘我、恍惚、
有頂天のたぐい。

※のっ
仰けから嘘にまつわる 五輪哉

アベ遺産 レガシー 負の五輪に化けそこね

無客席 総理脱兔のおもてなし

美の祭典 鉤十字の旗なびき

よって立つ復興五輪 地獄変

※まつわるとは、絡みついてほぐれないこと。アンダーコントロールの尾は切れず。

コロナ禍の命危うい 五輪哉

NHK 二人羽織の紐が切れ

資本主義 金のなる木にメダル垂げ

無復興 コロナ王国 置土産おきみやげ

ファンファーレ 五輪世紀の遺物哉

※コロナ感染親子の死亡を報道中、日本選手のメダル獲得を速報で流すNHK。語るに落ちた傀儡NHK。

捧げ銃^ぶ 曲^まうとましき 注射針

コロナ禍の仮想敵国 身が持たず

オキナワの基地に怨嗟の骨まぶし

AIに 無人虐殺兵器あり

再稼働 脱炭素を奇貨となし

生態系タガ外れしや はぐれ猿

使い捨て あらたな星に梯掛け

そのまんま 環境破壊の先進国

バイオニア

温暖化 狂う歯車 土砂崩れ

文明のあしこし立たぬ 宿痾哉

絨緞に罪科雛あり
揃い踏み

票田の香のけむりを棚引かせ

検事長 牌イの崩れに溺れ死に

冷酷の涙ひとすじ 法務相

お一方ひとかた 已*が人屋*の臭いめし

嘘八百 風糸引くや 簾のれん越し

御託のべ言わずもがなの嘘がバレ

食ヒビユーカーンわせ者 マファイアソフトで反り返る

御老中 徘徊哀し 幹事長

総裁選 同じ壺より首がでる

樹木葬 耳まで裂けた柘榴哉ざくろ

還元素 もとの茵しよねに眠りこけ

喪中にて籬たがのはずれし 浮世哉

斑猫はんねこの手招く先の みちしるべ

文明の踏絵の影に 戦おのくや

踏絵抄

戦前の権力指向そのままに、姿をかえ、バブル崩壊からの戦後をひたすら突っ走ってきた日本社会。支配は二重構図への道を取り、天皇制は星条旗となり、アメリカファーストの自由と民主主義を欺く属国へとなり下がってしまった。アンタツチャブルの十字架の下、意識下での「踏絵」と、片や畳を踏むがごとく踏みつけられてきた、本来踏んではならぬ無意識下での「踏絵」。人はその踏絵のみを踏まされて、十三階段をのぼりつめてしまった。環境、生態系、気候温暖化等、自然の摂理が破壊され、地球は搖籃から墓場と化して――。キリスト教弾圧の踏絵は時代を超えて、民衆抑圧の道具として連綿と受け継がれている。民主主義の育たない、飼育国家が見えてくる。加えて、コロナ禍のオリパラ等の戯れごとを重ね、更なる破滅への道をすすめてしまった。

誉むべく偉大なる文明社会を、言祝ぐや。